

## 市民懇談会でのご意見・ご要望等への対応一覧の掲載について

平素は、議会運営にご理解を賜りありがとうございます。

さて、過日の市民懇談会で頂戴したご意見・ご要望等について、別添一覧のとおり、対応を決定しましたので掲載します。

頂戴しましたご意見等は、市政や当議会に対する貴重な提言として真摯に受け止め、当市の一層の発展に資するよう努めてまいります。

なお、対応決定に至るまで時間を要する結果となりましたことをお詫び申し上げますとともに、継続的に市民懇談会の運営方法の改善に取り組んでまいりますので、今後とも、市民懇談会への参加等、ご協力をお願いいたします。

平成26年2月3日

生駒市議会

平成 25 年度市民懇談会での意見

【市民懇談会について】

分類項目	市民意見	回答
全般（評価）	<p>とても有意義な会でした。</p> <p>工夫が感じられよかった。</p> <p>参加議員が多く、近い感じがした。</p> <p>議員も参加者も真剣に応答があったと思える。</p> <p>この度は、はじめてなので今後も参加したいと思った。よろしく。</p> <p>参加者が少なくても、このような会を継続してゆくことに意義があると思います。</p> <p>前回意見・要望の回答ありがとうございました。</p> <p>市民との対話する姿勢は大いに評価する。今後も頑張ってください！</p>	<p>既に年 1 回以上の開催をルール化しており、今後もみなさまのご意見を踏まえ、継続的に開催いたします。</p>
問題・課題	<p>議会として何をやりたいかが不明確</p> <p>市民懇談会はタウンミーティングとは違うものです。市長に意見を言うのは、タウンミーティングにしてほしいと思います。議会がテーマを募集するなど市民の意見を入れようとしているのはわかるけどそれが市民へのポーズにならないようにしてほしい。</p> <p>自治会長が議員を知らないとの発言がありました。自治会長は市民懇談会に参加して下さい。</p> <p>特定の意見を持った人が参加しているのではないか。議員は地元町村住民の多様な意見を集約する努力を最優先すべきと思う。</p> <p>他市（茨木市）の議員は入れない方がよい。</p>	<p>ご意見を踏まえ、改善に取り組みます。</p>
参加者数・周知	<p>せっかくの市民懇談会なのに、参加される方が少なく、とても残念に思いましたが、私にとっては勉強になりました。生駒市がますます発展しますこと祈っております。今後とも、生駒市民のもと、よろしく願いいたします。</p>	<p>今回の延べ参加者数は 54 人でした。今後、できるだけ広い世代の多くの方にご参加頂くことが課題となっています。有効な周知方法、参加しやすい場の設定など、今後、検討し、改善いたします。</p>

分類項目	市民意見	回答
参加者数・周知	もっと多くの市民が参加できる様、PR活動等工夫が必要と思う。	(前頁に同じ)
	もう少し多くの市民が参加できる形ができれば良い。参加が少ない。	
	市民懇談会の周知が足りないのではないのでしょうか。	
	市民の出席者が少ない。議会のPR不足。	
	参加者を増やすにはどうPRするか。(自治会を使うのも良い?)	
回数・時間	開催回数、年1回は少ない。	議会として、できるだけ多くの方々のご意見を伺いたいと考えており、今後とも、広い世代のご意見を伺うための方法(実施回数、実施時間、プログラムの内容など)を検討、実施いたします。
	土日が良いが、もっと回数を増やし、時間もせめて3時間必要では?(グループ討議は良いと思うので)	
	市民の声を聞くため、最低4回は実施すべき。	
	時間が短く、質疑応答が不十分だと感じる。	
	もう少し時間をかけてほしいと思った。	
	1回で済まない容量で時間が少ない。	
	第1部の説明20分、質疑応答20分→質疑応答の時間が少し少ないように思う。	
第1部	昨日も基本条例を議員が読まれていました。時間が無駄だと思うので、次回からもう少し考えていただきたいと思います。むしろ、自由な討論を多くして、議員と市民のコミュニケーションを図った方が、より市政に反映できて良いと考えます。	今後、ご意見を踏まえて、プログラムを検討いたします。
	市議会基本条例(案)への意見聴取は必要なかったと思う。	
第2部(評価)	班に分かれてのミーティング良かったと思います。	今回初めての取組みでしたが、概ね好評であったことを踏まえ、今後ともグループ討議の実施を検討いたします。
	ワークショップは面白い。	
	参加者と議員が一緒になって討論することは、新しい取組ですが、その評価は1つの方式として評価する。	
	ワークショップ形式は今後も続けて欲しいです。	

分類項目	市 民 意 見	回 答
第2部（評価）	市民と議員が同じテーブルで懇談するのは良かった。	（前頁に同じ）
	グループ討議は非常に良かった。今後も続けて下さい。活発な意見がたくさん出て良かった	
	グループ討論は意見が出しやすかったが、今後参加人数が増えた場合の対応が必要と感じた。	
	世代間交流がメインテーマであれば、中高年齢者の参加のみならず、若い人の参加を更に求めるようにすれば、各年齢層のそれぞれの意見が出るのではないか。	
	良かったです。	
	本日のグループになって意見を出して行くやり方がよかった。議員さんのアイデアよかったです。	
	新しい試みとして、論点がわかりにくかったが、まず始めたのに意義があった。今後、よりよいものになってゆくだらうと思っています。	
第2部（問題・課題）	第2部「世代間交流」のグループ討論は時間不足だが、良い企画であったと思う。次回も3時間位とし、まとめると良いものになるでしょう。	今回のご意見を踏まえ、グループ討議の開催方法や進め方などを改善いたします。
	有意義な発言があったが、抽象的理想の話が多く、具体的にどうするか意見が出るまでに至らなかった。	
	グループでの話合いの前の説明が長すぎて困る。各地域の動きが良く分かって良かった。グループでの話合いで議員の話が長い。	
	別の機会に市民に聞けば良い。	
	若者に声かけをして、この話し合いを進めてほしかったです。	
	本日もいい時間なのに子育て世代の参加がない。	

分類項目	市民意見	回答
第2部（テーマ）	その時々「最大テーマ」を重点に討議すべき。	以前の市民懇談会でテーマ設定に際して市民の意見を聞いて決めて欲しいとの要望があり、今回公募によりテーマを設定しました。 応募総数 60 件、その内 59 件が議会基本条例に関することであり、残り 1 件が世代間交流に関わるものでしたので、あえて取り上げさせていただきました。 今後、意見交換のテーマについては、今回のご意見も踏まえ、設定方法を検討いたします。
	第2部の交流会のテーマを特定してほしい。	
	議会の取り上げる議題としては、もっと相応しいものがあるのではないか？	
	テーマとしてあまりふさわしくない。（もっと市政の根本的なことを） 何名の市民がこの題を要望されたのですか？	
第3部	第3部をクローズアップした意見交換会を定期的で開催して頂きたい。	ご意見を踏まえ、今後の市民懇談会のあり方について検討いたします。
その他	議長は議会の代表者であり、会議の進行役である。偉いわけではない。他の議員に対する態度に不快感を感じる。	ご意見として承ります。

【その他意見・要望】

分類項目	市民意見	回答
議会・議員に対する意見	議会も行政も「市民の為」という観点から、それぞれ議会、行政とも対応してもらいたい。	ご意見として承ります。また、ご意見を各議員に周知いたします。
	市の提案について良く勉強し、地元の要望も組み入れ、迅速に対応していくべき。長々と時間ばかりかけ、結果が出ていないのでは？	
	行政（市長）、議会、市民の三本柱（国は三権分立）なのであり、行政、議会は市民等から税金で、行政、議会の費用を賄われている。市民の為の行政であり、チェックだけが議会の仕事でない。事業の執行も大事である。	
	市議会議員さんは市民の代表です。市民の為のことを考えてどんどん意見を具申してください。	
	議員の役割は何でしょう？行政のチェックをしっかりと事だと思えます。市長派、反市長派と言われている間は本当の議員、議会の役割はできないと思えます。市民にも一部責任はあると思えますが…。	
	議員さん、議会、市民に分かり易くなって来ています。	
情報発信	情報が受身でなく、積極的に提供することが望ましい。自治会長と市議との常時接触があることを求めたい。	広報広聴委員会において方法を検討いたします。
	市役所で議会中は、1階ホールのテレビで観られるようにすると、市民はもっと関心を持つようになる。待つ間にも、テレビで何を市はやっているのか、関心をもって参加しやすくなる。	中継している映像を1階ホールのテレビで観られるようにしています。
	議員さんの個人の政策に対する意見を聞ける場があればと思いました。	ご意見として承ります。また、各議員に周知いたします。
市民意見の把握	自治会の小さな要望をきき入れ対処してもらいたい。市の議員様の各自治会を見回り目を見てほしい。	広報広聴委員会において方法を検討いたします。
	もっともっと市民、地区の要望（を）聞く機会を増やしてほしいです。	

分類項目	市民意見	回答
市民意見の把握	市民の代表といいながら、市民の要望に対して一向に聞く耳を持たない議会は解散した方がいい。	ご意見として承ります。また、各議員に周知いたします。
	再議の乱用は民主主義がくずれて行くのでは？ 市長と議員の力の差がありすぎる様に思う。	
議会基本条例	議会基本条例…名ばかりのものを作ってどうするのか。市民の意見を聞くつもりがないなら、検討したふりをするな。	ご意見として承ります。 なお、議会基本条例については、これまでに頂戴したご意見も踏まえつつ、今後とも継続的に検証を行い、改善いたします
	議会改革については不満、特に、反問権については市議の自信のなさがかい間見えた。	
	すばらしい議会基本条例にしてください。	
	基本条例についてで出されたように、「形だけの条例」でないものを目ざしてほしいです。	
議員定数・議員報酬	議会基本条例（案）のパブコメ前後の変更点を新旧対照表として示していただきたいです。	パブリックコメントで頂戴したご意見への対応については一覧表にして議会HPで公表いたしました。
	定数、報酬、政務活動費の削減議論に時間をかけるべきではない。マスコミや一部市民団体、自らの後援者の声だけでなく幅広く意見を聞き、自らの良識に従って判断し、毅然とした態度をとること。現在の我が国の法体系上、制度上難しいとはいえ、選挙で選ばれた首長、議員は公約、マニフェストで掲げた事項でなく、生駒市政全般に関して信頼できる判断をすべきものである。選挙では自らの政治信条をオープンにし、当選後は毅然として説明をきちんとすべき。 議会、議員の質の向上が大事。定数は適正化、歳費はもう少し高額化。以上の手立てで幅広い世代からの立候補が期待でき、競争原理も働くのでは…。	

分類項目	市民意見	回答
議員定数・議員報酬	定数問題は一体どうなっているのでしょうか。	(前頁に同じ)
	定数を半減しろ。(税金がもったいない)	
行政課題(福祉)	特に全国的に見て生駒市の福祉に力を入れてほしいです。障がいのある方が毎日毎日大変な日々をすごしております。	ご意見として承ります。
行政課題(病院事業)	市民病院の運営主体選定において、公募だけに頼らずに、議員各自が、各医療法人に働きかけていった議員諸氏はいたのでしょうか。議会は行政へのチェックだけでなく、もう少し問題、懸案に対して、積極的に働きかけてゆく努力があってもよかったのではと思っています。不作為とまでは言えなくても行政に、お膳立て、まる投げでは、極論として議員不要論もでてくるのではないかと思います。	行政は執行機関、議会は議事機関として地方自治法に規定されています。そのため、議会、議員が独自に、かつ直接的に事務執行に関わることは困難です。また、特定の医療機関に働きかけ、行政に紹介することがあれば、政治倫理条例に違反することとなります。
行政課題(公営住宅)	生駒市営住宅の入居要件では、公営住宅法に規定されていないにも関わらず、保証人が必要となっている。この要件をなくすことはできないのか。	12月定例会の都市建設委員会の関連議案の審査の中で以下の通り確認しました。 民間の賃貸借契約と同じように考えており、すぐに保証人の要件を外すというのは難しいと考えています。 ただし、公営住宅法に基づく住宅については、住宅に困窮する低額所得者の居住の安定を図ることを目的としていますので、入居者が努力したにもかかわらず保証人がどうしても見付からない場合には保証人の免除をしています。 本市でも、市営住宅条例第11条第3項において、保証人の免除を配慮しており、生活保護世帯やDV被害者については、保証人を免除しています。

分類項目	市民意見	回答
地域課題(東生駒駅前葬儀場)	東生駒の葬儀場問題に関し、もっと早く状況の情報があれば、良いと思っている。議員の方の積極的な情報提供をされるシステムを望みます。	12月に対応の一環として「生駒市葬祭場の設置に関する指導要綱」を制定しました。この要綱により、事業実施に際して市との事前協議、地元への事前周知が義務づけられ、早期の情報収集が可能となりました。また、12月定例会の都市建設委員会においても、委員より要綱の運用、今後の対応についての質疑等を行いました。今後は事業者側の取り組みを注視し、適宜対応を考えてまいります。
	ベルコの件、文書にて回答依頼、11月未までに。	
	葬祭場反対の看板を立てるために、市の道路を10cmぐらいの幅で自治会に貸して頂くことはできるのか。	市道の占用許可を申請頂ければ、道路法令の許可基準に従って判断いたします。
地域課題(生駒駅前)	アントレ生駒の前(バスターミナル)に夕方になるとムクドリの群れが集まって来ています。調査すべきだろうかと考えています。	行政として問題を認識しています。今後、調査し対応を検討いたします。
地域課題(道路環境)	国道168号の両脇(歩道部)に置かれている石柱について。生駒市は県の方に変えて欲しいとかいうことは出来ないのか。	過去の都市建設委員会において同様の質問があった際の市の回答は概ね以下の通りです。 石柱については、国道168号の電線の地中化工事に伴い街路樹が撤去されることになり、平成18年の12月から、周辺自治会による「R168の花とみどりを育てる会」が主体となって、アンケート調査等を行いながら、市と県の3者が協議を重ね実施されたものです。現在、県が維持管理されており、市がどこまで関与できるかは明確ではありません。 石柱に変えて何かを行うに当たっては付近の方のメンテナンスが必要となる場合もあることから、地元の方とも検討しなければなりません。

分類項目	市民意見	回答
地域課題（道路環境）	危ない通学路が100箇所ほどあり、半分ほどは解消されたと聞いているが、現在の進捗状況は。	平成24年度に点検した86箇所のうち、平成25年12月末現在、県対応箇所は24箇所中8箇所、市対応箇所は62箇所中42箇所が対応済みとなっています。（進捗状況については生駒市HPで公表しています。） なお、86箇所全ての対応を平成26年3月末までに完了する予定です。
地域課題（道路環境）	東山から南第二小学校へ行く左側の道路の溝が、5年以上手がつけられておらず、大雨の時にオーバーフローしている。どこが管理しているのか。	市の管理箇所であり、具体的な問題箇所について、建設部管理課に通報して頂ければ、現状を確認し、対応いたします。
地域課題（ゴミ）	ゴミ出しのマナー、集積場の確保して欲しい。（開発にともなう）	ご要望を行政に伝えます。
地域課題（自治会）	自治会に入会していない市民がいますが、入会して欲しいです。	ご意見として承ります。

## 【第2部（世代間交流）についてのとりまとめ】

市民懇談会のグループ討議、及びその後のアンケートで頂戴したご意見を踏まえ、「世代間交流」に関する現状、課題等を以下の通りとりまとめました。

この結果を行政に伝えるとともに、今後、議会において「世代間交流」について施策等を検討する際の参考といたします。

### 【現在の取り組みと評価】

世代間交流に係る取り組みは、自治会などで取り込まれるイベントと地域で日常的に取り込まれている活動の2通りある。

現状で各地域において実施されている、世代間交流に関する取り組みとして、以下のようなものがある。

- ・地域の祭り
- ・就労支援活動
- ・お月見どろぼう
- ・あいさつ運動
- ・通学路の見回り、下校時の「見守り隊」
- ・地域、老人会の清掃活動、公園の草刈
- ・地域レクリエーション（歩こう会、日帰りや泊まりがけの旅行、紅葉狩り、飲み会など）
- ・同好会の活動
- ・自宅で手料理を振る舞い交流
- ・聴聞ボランティア
- ・「こども育成ネット」、「おもちゃ病院」などのボランティア活動

高齢化が進んでいる中で、自治会、老人会の取り組みが盛んに行われている地域も多く、地域、住民、自治体活動が基本、一定程度うまくいっていると評価されている。

子どもが喜ぶ行事は親の参加が多いものの、他方、広報紙・誌での呼びかけに参加する青少年は必ずしも多くないという実態もある。

### 【問題・課題】

各地域で世代間交流に取り込まれているが、市街化調整区域が広がる地域においては、人口が増えず、若者が流出し、高齢化が進む中で、イベント等への参加者が少なくなり、地域活動が停滞していくことが問題となっている。

世代間交流の取り組みは、自治会が関わっているものが多く、世代間交流を活発にするためには、自治会が鍵を握っているとも言える。また、様々な問題があるが、結局、自治会が問題解決に導いていくと考えられる。

にもかかわらず、自治会では、退会者が増えている、会長・役員のなり手がない、自治会と密接な関係のある民生委員や児童委員のなり手がないといった問題を抱えており、自治会が衰退していくことが懸念される。

世代間交流を活発化するため、自治会の活動を維持していく、あるいは活発にしていくことが最大の課題である。自治会活動においても後継者づくりが世代間交流につながることとなる。特に、子どもも親も参加する「祭り」や「イベント」は有効である。

また、今ある世代間交流の行事、事業について、「タテ、ヨコ、上下と密接に絡ませること」、「ひとつひとつに関連を持たせること」、「ヨコの連絡会、協議会、タテの線のつながりを深く、濃いものにすること」などが必要である。

さらに、継続的に活動している団体を核に世代間交流を図るのが現実的

でスムーズと考えられる。

この他、以下のような問題・課題が認識されている。

- 各世代が参加しない交流はあり得ない。
- 市で今やられている行事の検証が必要である。どんどこまつりなど、密度をどう高めるかが課題である。
- 自治会や老人会などの行事だけでなく、近所付き合いから生まれるものである。
- 市民は高齢者だけでなく、若者も居住している。広く世代にわたる施策が必要である。
- 折角、外に遊び場があるのに子どもが遊んでいない。
- 寿大学は老人会の衰退につながっているのではないか。
- 地域であいさつ運動をしているが、席を譲ることなどの教育も必要である。
- 回覧板が、行事が終わってからまわってくるなど、広報の問題がある。

また、世代間交流を進めるため、以下の取り組みが提案された。

- 全市的なあいさつ運動
- 小さな親切運動
- 「お月見どろぼう」的なものを全市で取り組む
- 老若コミュニケーションがもっと図れるような取り組み
- 保育園、幼稚園、小学校、中学校の交流会

#### 【行政ニーズ】

世代間交流に係る取り組みを進めていくに当たり、行政に対して以下のような要望が出されている。

- 何かやろうとしてもお金が足りない、公共施設も使用料が高いのでなんとか減免して頂きたい。

- こういう活動を続ける上で、場所の問題が大きい。「ららポート」は無料であるが、加盟団体が多く場所取りが難しい。またコミュニティセンターは使用料の負担が大きく割り引きして欲しい。

といった、場所の確保、そのための金銭的な補助を求める声がある。

また、

- あまりお金をかけずに地域の自発的な活動に対して制度的支援、ノウハウの提供、わずかな金銭支援でやっていくべき。交付した金銭に関しては透明性を求めるのは言うまでもない。

というように、地域の自発的、自立的な活動に対する支援を求める声がある。その一環として、

- 今後の参考にしたいポジティブな話を皆に紹介して頂きたい。
- 活発にやりたいので、事例を紹介してほしい。

といった情報提供が求められている。

この他、議員に対して、

- 議員はもっと現状認識をしっかりとって頂きたい。

といった要望も出された。

#### 【感想】

意見交換を通して、参加された方から次のような感想が聞かれた。

- 自分が参加していないことに唖然とした。これからは参加したいと思った。
- 当日配布の資料を見て、これまで世代間交流について特段認識していなかったが、これらの活動に参加したいと思った。

※とりまとめに当たっては参加者のご意見（発言・回答の内容）をできるだけ忠実に記載しました。